

2023 年度「生産性課題に関するビジネスパーソンの意識調査」調査票

1 日本の生産性はなぜ低いのか／向上しないのか（阻害要因）

5. 日本の時間当たり労働生産性は、最新のデータでは G7 で最下位、OECD 加盟 38 カ国中 27 位にまで落ち込んでいます。このような状況について、あなたはどのようにお考えですか？
- かなり危機感がある
 - やや危機感がある
 - あまり危機感はない
 - ほとんど危機感はない
 - その他（具体的にご記入ください）
 - わからない
6. 日本の労働生産性が低い原因のうち、働き方と業務プロセスについてはどのような問題が大きいと思いますか？ 大きいと思う選択肢を 2つ お選びください。
- 無駄な作業・業務が多い
 - 仕事の仕組みのデジタル化が進んでいない
 - ダイバーシティ & インクルージョンが進んでいない
 - 新しいことにチャレンジしにくい組織風土がある
 - 専門性や個人の業務遂行能力を活かした人材配置となっていない
 - 会社の価値観や仕事のやり方が以前と変わっていない
 - 事業のスクラップ & ビルドが進んでいない
 - 組織の意思決定が遅い
 - その他（具体的にご記入ください）
 - わからない
7. 日本全体で人手不足が問題となっていますが、貴社にどのような影響を与えていますか？
- 従来採用できていたレベルの人材が採用できていない
 - 給与水準を上げることで採用できている
 - 外国人を積極的に採用するようになった
 - そもそも採用できていない
 - コロナ禍で流出した人材が戻って来ていない
 - 大きな影響は出ていない
 - その他（具体的に記入してください）

8. 急速に進化を遂げるデジタル技術（ロボット、生成 AI 等）について、働き方や業務プロセスにどのような影響を与えていますか？ 最大2つまでお選びください。

- 人手不足解消に貢献している
- 今までと同じ人員でより多くの業務をこなせるようになった
- 雇用を失う可能性があり、脅威を感じる
- 投資のコストに見合った効果が出ていない（影響はない）
- 付加価値を生む事業の創出ができていない
- 潜在需要の開拓につながっている
- デジタル技術への投資が進んでいない
- その他（具体的に記入してください）
- 特になし

9. 貴社においてコロナ禍中の3年間でイノベーションは実現できましたか？

- はい
- いいえ
- わからない

▶ 9-SQ.（いいえとお答えになった場合）イノベーションが実現できていないのは何が原因と考えますか？

- イノベーションを起こすような人材が採用できていない
- イノベーション人材を育成できていない
- イノベーション人材の処遇体系が整っていない
- イノベーション人材が活躍できる業務の仕組みになっていない
- イノベティブな組織風土ではない
- オープンイノベーション等組織外との協業の仕組みがない
- イノベーション投資への予算が割り当てられていない
- その他（具体的に記入してください）
- わからない

10. グローバリゼーションが変質しつつあるなか、あなたの業務に大きく影響を及ぼしているものは次のうちどれですか？ 大きく影響を及ぼしている選択肢を最大2つまでお選びください。

- ウクライナ戦争
- 権威主義と民主主義の対立
- グローバルサウスの勢力伸張
- エネルギー・環境問題
- 経済安全保障
- サイバーセキュリティ問題
- インフレ
- サプライチェーンの混乱
- その他（具体的に記入してください）
- 特にない

11. あなたが業務を遂行する上で現在考慮すべき社会課題はどれだとお考えですか？ 重要だと思う選択肢を最大2つまでお選びください。

- 環境への配慮
- 人権への配慮
- ダイバーシティ・インクルージョン
- 原材料高騰・物価高
- 少子高齢化
- 貧富・所得格差
- 事業継承
- その他（具体的に記入してください）
- 特にない

2 阻害要因・課題を解決するにはどうしたらよいか（改善策）

12. コロナ禍を経てあなたの働くことへの考え方はどのように変わってきていますか？

- 社会貢献を一層意識するようになった
- 個人のワークライフバランスを一層重視するようになった
- 仕事を通じた自分の成長ややりがいを感じられることを求めるようになった
- 組織よりも自分の仕事やキャリアを優先するようになった
- 特に以前から変わっていない
- その他（具体的に記入してください）

13. 貴社の粗利益を向上させるためには、どのような取組みをしていくべきだと思いますか？ 重要だと思ふ選択肢を2つお選びください。

- 新しい商品・サービスを創造する
- 商品・サービスを値上げする
- 優良顧客を増やす
- 従業員の能力向上
- ビックデータ・AI 等を活用した潜在需要の開拓
- 業務プロセス改善による労働時間の削減
- 原価低減
- ロボティクス・RPA 等の活用による業務効率化
- その他（具体的にご記入ください）
- わからない

14. イノベーションが促進されるためには何が必要だと考えますか？ 最大2つまでお選びください。

- 外資やスタートアップとのオープンイノベーション
- 産学連携の強化
- 外国人を含む高度専門人材の採用
- 修士・博士号取得者への処遇の見直し
- イノベーションを担う人材の育成
- 国内外のベンチャー・スタートアップへの投資
- 研究開発投資の増額
- チャレンジを支援・奨励する組織風土づくり
- その他（具体的にご記入してください）
- わからない

15. 原材料費高騰・物価高を背景に貴社の商品・サービス価格はどのように設定すべきだと思いますか？

- 商品・サービスの改善に応じた価格改定
- コスト変動に応じた価格改定
- 需給に合わせて一定の利幅を確保するような価格設定（ダイナミックプライシング等）
- 安易な値下げはしない
- 新サービス・製品の開発とそれに応じた価格設定
- その他（具体的にご記入ください）
- わからない

16. 人間の仕事が進化する生成 AI 等に置き換えられる可能性が高まっていますが、あなたはこれからどうなるとお考えですか？

- 自分の仕事が代替される脅威を感じる
- 社内の事業構造が大きく変わり、影響を受ける従業員が増える
- 無駄な作業・業務が減り、ワークライフバランスが改善する
- より付加価値の高い仕事に集中できるようになる
- あまり影響を受けるとことはない
- その他（具体的にご記入ください）
- わからない

17. 経済の成長と分配の好循環創出に向け、企業にはどのような投資が必要だと思いますか？

- デジタルスキルなどリスクリング等の人材育成への投資
- 研究開発投資
- 脱炭素実現に向けた環境対策・グリーンな製品・サービスへの開発投資
- デジタルトランスフォーメーション（デジタル化投資）
- その他（具体的に記入してください）
- わからない

2023 年度「生産性課題に関するビジネスパーソンの意識調査」調査票
(あなた自身に関するアンケート)

1. あなたの役職は、以下のどちらでしょうか？

- トップマネジメント（会長・社長など）
- 役員（取締役・執行役員など）
- 管理職（部長・課長など）
- 非管理職（係長・主任など）
- その他（一般社員、パート・アルバイト、学生、無職など）

「その他」以外を選択した場合、次に進む

2. あなたが勤めている企業・組織の従業員数は、以下のどちらでしょうか？

- 300 人未満
- 300 人以上 499 人
- 500 人以上 999 人
- 1000 人以上 2999 人
- 3000 人以上 4999 人
- 5000 人以上 9999 人
- 10000 人以上

「300 人未満」以外を選択した場合、次に進む

3. 貴社の年間売上高をお答えください。

- 30 億円未満
- 30 億円以上～100 億円未満
- 100 億円以上～500 億円未満
- 500 億円以上～1000 億円未満
- 1000 億円以上～3000 億円未満
- 3000 億円以上～5000 億円未満
- 5000 億円以上

4. 貴社の基幹的事業は何ですか？最も当てはまるものをお答えください。

- 製造
- 対人サービス
(例：宿泊・飲食・百貨店・スーパー・金融（実店舗メイン）・医療・公務・卸売・運輸・交通など)
- 非対人サービス
(例：ネット販売・情報通信・ネット金融・不動産・電気ガスなど)

4-SQ. 貴社の業種は何ですか？最も当てはまるものをお答えください。

- 電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、サービス業(他に分類されないもの)
- 教育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス業、公務(他に分類されるものを除く)
- その他